

## 島根県原子力講演会 2014（松江会場） 参加者ご意見、ご感想

### 【ご質問】

Q 8 放射線や放射能について、お知りになりたいことをお書きください。

### 【ご回答】

- ・発生してからの被災が人体への被害。
- ・放射線業務従事者はどうなったのか。避難した先も避難すべき区域になったらどうするのか。除染後の汚染物の対処法ははっきり決まっているのか。一時置き場がなくなるとどうなるか。
- ・「防災計画」は原発がなければ必要ない。話を聞けば聞くほど原発の必要性を感じない。「脱原発」の方向を是非、県・市ですすめてほしい。よろしく。
- ・事故時の国向の情報等にもっと力を入れては。
- ・同じ内容でもよいので（1回では後で思い出せない）何年か後に講演を開催して下さい。
- ・一般論ではなく、やはり今回の講演のように具体的な症例や計数的データを呈示してもらえると、安心できるし、説得力がある。今後もこのような事例紹介を中心とした知識を身に付けたいと思う。
- ・ガン以外のリスクは何があるか。
- ・原子力発電所が停止していれば、事故のリスクは低くなるのか、変わらないのかが知りたいと思います。
- ・被ばくを過小評価してはいけないと思います。低線量ばくの問題について知りたい。
- ・使用済燃料棒はどうか（管理）。運搬時にもしもおちたらどうする。建屋内とか道路上におちたら。
- ・放射線の人体影響。
- ・低レベル放射線 100 ミリシーベルト以下は人体への影響が無いことの科学的証明。

### 【ご質問】

Q 9 本日の講演会の感想などをご自由にお書きください。

### 【ご回答】

- ・PAZ、UPZという名称は知識がないと理解できません。一般的に、単純に5km圏内、5km圏外などと表現された方が、よいのではないのでしょうか。わかりやすいことが、重要だと思います。
- ・高村先生の講演 今までの放射線の講演会の中で最もわかりやすかったと思います。
- ・大変わかりやすく、パンフレットも良かったです。高村昇氏の講演もわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・講演会の開催の案内について折込広報では①高村氏の講演内容のみと理解していた②本日参加して会議の前段約30分で松江市民各家庭が聴講すべきことが多く、各町内会から参加し聴講が必要と判断③時間配分が見込以上に大幅にずれ込んだ長時間であった。
- ・今まで何回も原子力の講義を受講し、原発施設の見学もしたが、一番効果があり有益な話であった。
- ・バスの数は足りるのか？一般避難者の燃料は足りるのか？
- ・不明な点が多いので、安全という方向で説明すれば安全に聞こえ、危険という方向で説明すれば危険に聞こえる。そういう意味ではどちら寄りの説明を聞いても本当のところどうなのかということが判断しにくく、個人の思考の方向によるものではないかという気がする。
- ・高村先生の話によって、放射能被爆線量によって、ガン発生リスクがかなり違うことが良くわかった。ちまたに流れる情報が、はっきりした根拠もない。思い入的な情報発信が多いことがわかった。先生の話はたいへん良く判り、有意義な時間を過ごせました。ありがとうございます。
- ・理解が深まり有意義であった。
- ・行政説明の時間配分、内容を一考願いたい。

- ・重複説明が多い（3地区の担当で下打合せをしてから実施してほしい）。
- ・高村先生の講演は良くわかりました。
- ・行政説明で理解出来ることが多かった。
- ・放射線の実害と一般市民の意識に大きな乖離がある。不必要な避難等による実害がいかに大きいか。産業等への影響の大きさ、国益を害していることも考えるべきだと思う。
- ・受けた放射線の線量に应ずる人体への影響について大変分かり易く講演していただいたが、とてもためになった。全般的に講師の話はとても分かり易かった。講師は聴講者に対し、特に重要な箇所を強調して講演していただいたので理解が容易だった。食品管理がとても重要であることを理解することができました。質疑応答の時間はしっかり確保した方が良いと思います。
- ・進行管理はチキンとしていただきたいです。前半の説明があまりにも長すぎます。
- ・高村先生の話が分かり易かった。
- ・長崎大学の支援の取組はとても意義深い。
- ・放射線に関してある程度知識が整理できた。
- ・県・市の避難計画説明は、もっとまとめて短くされた方がよろしいのでは。県・市で内容がダブっている。市の説明が長すぎます。講演は良かった。
- ・防災対策・避難計画の話が重複していて、長い時間さいってしまった。まとめて話をすれば良いのに、高村氏の話をもっとゆっくり聞きたかった。
- ・難しい内容をわかりやすく説明していただきました。もっと多くの方に先生のお話や市、県の説明をしていただき、もしものための備えを皆でしていただければと思いました。ありがとうございました。
- ・最後の質問で高村先生のご説明と異なるデータを言われた方がいらっしゃいました。どちらが正しいのか……。迷いを感じました。（←除染のあり方、効果について）
- ・福島とチェルノブイリの違いがよく分かった。とても参考になりました。
- ・市の取組に不満。市民の原子力に対する感心を増やす施策方法を！ケーブルテレビが何故に入っていない??!!
- ・放射線・放射能の基礎あるいはチェルノブイリと福島事故の違いなど、今までの不明についてわかりました。
- ・学校へ迎えに行けない子供達について（UPZ地区）知りたい。
- ・県・市の防災対策が長すぎて、高村先生の話が少なくなったのが残念でした。もっと要点をしぼって話してほしい。
- ・防災計画等の話があるなら出雲会場に行った方が良かったなと思いました。（予め分かっていたら嬉しかったです。）
- ・先生のお話は原爆やチェルノブイリと比較しながら違いをわかりやすく示していただき、とても勉強になりました。
- ・内容がデータに基づいていて具体的で理解しやすかったです。
- ・講師様の熱意に打たれました。説明のパンフレット等も充実した内容で明記されていて、老人にも理解し易く勉強になりました。
- ・質問の時間を多くとる。
- ・原発は赤字経営にならないですね、くわしいことは書かないです。
- ・講演は良かったが、前段の説明（県・市）が長い。
- ・①大変よかった。②Drへの質問に市民団体系が多かった。
- ・防止は計画は必要であるが、福島の例から無やみに逃げない方が良いのではないかと。一時的に放射線が高いのは一時的で落ちついて必要に応じ対応すべき。ただしヨウ素 131 の対策を十分に行うことで逃げなくてよいと考える。